

膵臓癌 03

対象疾患:膵臓癌

【0403】FOLFIRINOX 療法

【投与スケジュール】 1コース=14日(2週)

一般名	商品名	略号	投与量	1W	2W
オキサリプラチン	エルプラット	L-OHP	85mg/m ²	↓ Day1	
イリノテカン	イリノテカン	CPT-11	180mg/m ²	↓ Day1	
レボホリナート	レボホリナート	I-LV	200mg/m ²	↓ Day1	
フルオロウラシル(急速静注)	フルオロウラシル	5-FU	400mg/m ²	↓ Day1	
フルオロウラシル(持続静注)	フルオロウラシル	5-FU	2400mg/m ²	↓ Day1	

【投与日のタイムテーブル】

滴下順	薬品名	用量	投与時間
Day1			
内服	アプレピタントカプセル 125mg	1C	エルプラット投与 60~90分前
①	アロキシ静注 0.75mg	1本	30分
	デカドロン 3.3mg/1mL	3管	
	生理食塩液 100mL	1本	
②	エルプラット	85mg/m ²	2時間
	5%ブドウ糖液 250mL	1本	
③	イリノテカン	180mg/m ²	2時間
	生理食塩液 250mL	1本	
③ (側ルート)	レボホリナート	200mg/m ²	2時間
	生理食塩液 250mL	1本	
④	フルオロウラシル	400mg/m ²	5分 (急速静注)
	生理食塩液 50mL	1本	
⑤	フルオロウラシル	2400mg/m ²	46時間 (持続静注)
	生理食塩液	適量	
Day2、3			
内服	アプレピタントカプセル 80mg	1C	午前中
内服	デカドロン錠 0.5mg	16錠	分2 朝・昼食後
Day4			
内服	デカドロン錠 0.5mg	16錠	分2 朝・昼食後

催吐性	高度リスク(>90%)
組織障害性	エルプラット: 炎症性抗がん剤
	イリノテカン: 炎症性抗がん剤
	フルオロウラシル: 炎症性抗がん剤
代表的副作用	エルプラット >10%…悪心、嘔吐、末梢神経障害、感覚異常、疲労 1~10%…アレルギー反応
	イリノテカン >10%…骨髄抑制、下痢、悪心、嘔吐、食欲不振 <1%…間質性肺炎
	フルオロウラシル >10%…食欲不振、下痢、口内炎、骨髄抑制 頻度不明…心筋虚血 白質脳症

【注意事項】

レボホリナートはイリノテカンの側管から投与すること

(エルプラット)

塩化物を含む輸液との配合を避ける(溶解液は5%ブドウ糖液のみ可)

塩基性溶液との混和もしくは同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと

(イリノテカン)

初回投与前に UGT1A1 遺伝子多型検査を行ってください。院内規定の説明・同意文書があります

レジメン登録承認	2016年3月3日 化学療法委員会
参考資料	Conroy T et al. FOLFIRINOX versus gemcitabine for metastatic pancreatic cancer. N Engl J Med. 2011 May 12;364(19):1817-25. Okusaka et al. Phase II study of FOLFIRINOX for chemotherapy-naïve Japanese patients with metastatic pancreatic cancer. Cancer Sci. 2014 Oct;105(10):1321-6. 膵癌 FOLFIRINOX 療法 適正使用情報 監修:日本膵臓学会 日本膵臓学会 膵癌診療ガイドライン 2013年版一部改訂(2014年7月9日)